



人を想い、
地球を想う

第107期 年次報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



三ツ星ベルト株式会社

証券コード: 5192

不透明で厳しい外部環境のもと、拡販・原価低減に努め業績大幅回復。 事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第107期の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は新型コロナウイルス感染症再拡大による影響を受け、一部の国や地域ではロックダウンがありました。拡大防止に向けたワクチン接種の進展に伴い、経済の回復が見られました。一方、半導体の不足、原材料価格や物流費などの高騰が続いているうえ、足元では、ロシアによるウクライナ侵攻による地政学的リスクの高まり、高インフレ懸念など、経済の先行きは、依然として不透明で予断を許さない状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは引き続き新型コロナウイルス感染防止策を講じつつ、2021年4月よりスタートした'21中期経営計画の達成に向け、環境の変化にぶれない強い企業を目指し、より一層の経営の効率化とコスト削減に取り組み、企業体質の強化を図ってまいりました。

今後の企業を取り巻く環境は、コロナ禍から脱却し社会経済活動の正常化に向かい始める一方、原材料価格や物流費の更なる高騰、人件費の増加、

半導体供給問題に加え、ロシアのウクライナ侵攻及びロシアに対する各国の経済制裁による影響、中国におけるゼロ・コロナ政策の影響などの様々な要因による世界的な景気減速により収益の圧迫が懸念されます。

このような状況に対応すべく、今回見直しを行いました'21中期経営計画に基づき、変化にぶれない強い企業体質の確立を目指し、財務体質の強化から資本効率の向上へと進化を図り、収益向上とバランスシート改善に取り組んでまいります。また、「人を想い、地球を想う」基本理念のもとSDGsに取り組み、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献できる企業づくりを推進してまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



代表取締役社長

池田 浩

連結業績概況

当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高74,870百万円(前連結会計年度比15.4%増)、営業利益7,640百万円(前連結会計年度比53.8%増)、経常利益8,552百万円(前連結会計年度比48.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6,380百万円(前連結会計年度比56.9%増)となりました。

財政状態については、棚卸資産の増加等により流動資産が5,789百万円、投資有価証券の増加等により固定資産が5,111百万円それぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比10,900百万円増加の118,963百万円となりました。

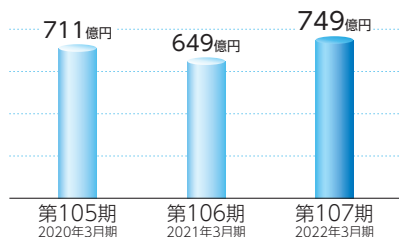
負債は、長期借入金の減少等により固定負債が271百万円減少したものの、支払手形及び買掛金の増加等により流動負債が2,557百万円増加したことから、前連結会計年度末比2,287百万円増加の32,086百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が4,547百万円増加したほか、その他の包括利益累計額が4,665百万円増加した結果、前連結会計年度末比8,613百万円増加の86,877百万円となりました。

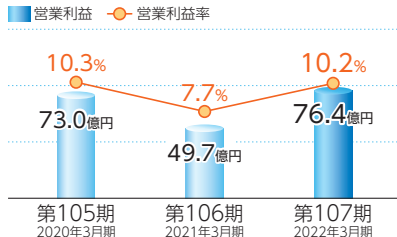
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.4%から73.0%に上昇しました。



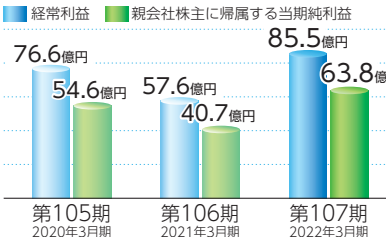
▶ 売上高



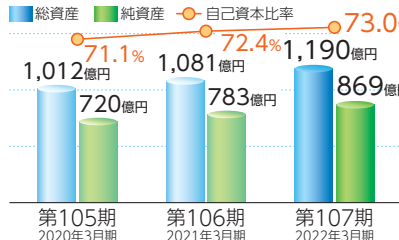
▶ 営業利益・営業利益率



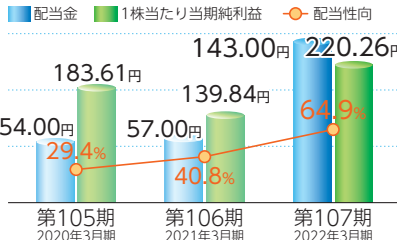
▶ 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



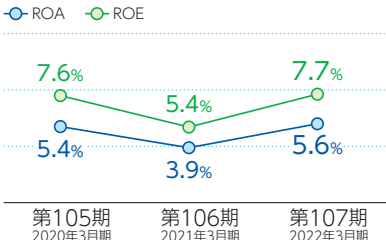
▶ 総資産・純資産・自己資本比率



▶ 配当金・1株当たり当期純利益・配当性向



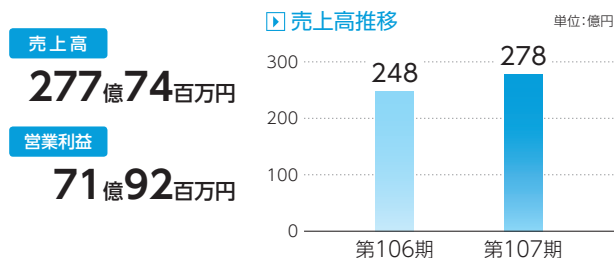
▶ ROA (総資産利益率)・ROE (自己資本利益率)



※当社は2018年10月1日付で、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っており、当該株式併合後の基準で換算した数値を記載しております。

事業部門別状況

国内ベルト事業



国内ベルト事業においては、前連結会計年度と比較して主要顧客の経済活動が回復傾向にあることから、いずれの業界においても需要が回復いたしました。

自動車用ベルトは、半導体不足による顧客の生産調整があったものの、システム製品の拡販などから組み込みライン用の売上高が増加するとともに、中古車需要が旺盛であったことから補修市場向けの売上高も増加しました。

一般産業用ベルトは、射出成形機やロボット業界向けの販売が好調に推移するとともに、農業機械向けも政府補助金の効果などから売上高が増加しました。

搬送ベルトは食品業界向けの需要回復に加え物流業界向けも好調に推移し、売上高が増加しました。合成樹脂素材は市況の回復に伴って樹脂素材の売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は27,774百万円（前連結会計年度比12.1%増）、営業利益は7,192百万円（前連結会計年度比51.0%増）となりました。



優れた耐久性に加え、高負荷伝動と低騒音を可能にした「メガトルクGⅢ」

海外ベルト事業



海外ベルト事業においても、新型コロナウイルスの影響が大きかった前連結会計年度と比較して、アジアや欧米のいずれの地域においても売上高が大きく回復いたしました。

自動車用ベルトは米国ではスノーモービルや多用途四輪車向けの販売が期間を通じて好調に推移し、四輪車用も補修市場の拡販により売上高が増加しました。東南アジア・中国においても二輪車用の売上高が大幅に増加しました。また、四輪車用については半導体不足によるユーザの生産調整があったものの、補修市場の拡販に注力した結果、前連結会計年度を上回る結果となりました。

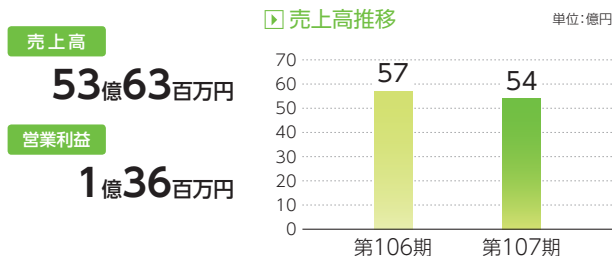
一般産業用ベルトは、アジアや欧州において補修市場の拡販により、売上高が増加しました。また、OA機器用ベルトについてはユーザの生産が回復傾向にあったものの、期間後半にかけて半導体不足の影響があったことから、通期では前連結会計年度並みとなりました。

その結果、当事業の売上高は36,488百万円（前連結会計年度比23.2%増）、営業利益は3,847百万円（前連結会計年度比40.7%増）となりました。



海外の大型農機用に開発されたマルチ(結合)タイプのラップVベルト「MAXSTAR POWER」

建設資材事業



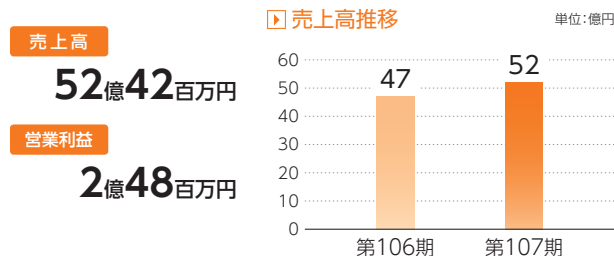
建築部門は公共や民間の改修工事物件が回復傾向にあることから、前連結会計年度並みの売上高となりましたが、土木部門では廃棄物処分場などの工事物件の減少や、物件の規模縮小の影響を受け、売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は5,363百万円（前連結会計年度比6.7%減）、営業利益は136百万円（前連結会計年度比53.2%減）となりました。



下地接着力、接合部強度と施工性が向上したゴムシートを用い、環境負荷が少ない“ファストバック工法”

その他



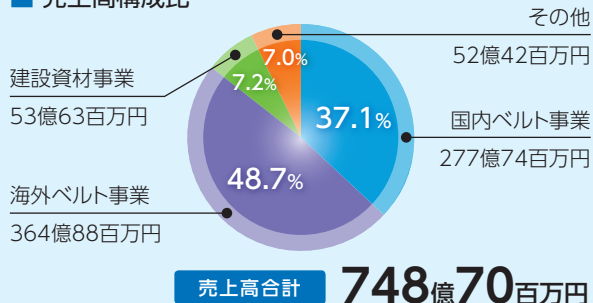
その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は5,242百万円（前連結会計年度比10.9%増）、営業利益は248百万円（前連結会計年度比100.8%増）となりました。

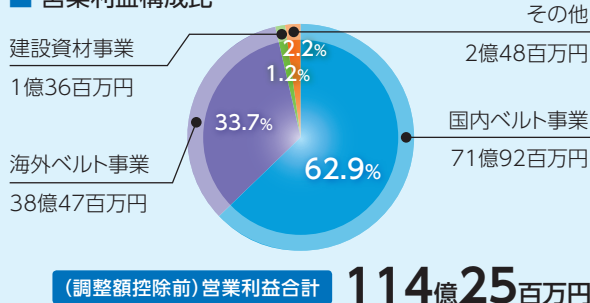


製造時の揮発性有機化合物(VOC)排出量を大幅に低減する“鏡面加飾用銀ナノ粒子ペースト顔料”

売上高構成比



営業利益構成比



'21中期経営計画（2021年度～2023年度）の見直し

2021年3月12日に公表いたしました「'21中期経営計画」に関し、直近の業績及び現状の経済状況を踏まえ、計画値を見直すことといたしました。

2023年度までの期間を、2030年度の「ありたい姿」の実現に向けた基盤強化機関と位置づけ、新たに「ROE」「政策保有株式売却額」をKPI（重要業績評価指標）として設定し、また、その達成に向けて「配当性向」の目標値を再設定（引き上げ）いたしました。

	見直し前	見直し後
	2023年度 KPI目標	2023年度 KPI目標
収益性	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高：750億円 ・営業利益：83億円 (11%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高：800億円 ・営業利益：83億円
資本効率性	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ROE：8% ・政策保有株式売却額：15億円以上 (中計期間中)
設備投資額	3年間の設備投資率：150億円	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の設備投資率：230億円
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ・1株当たり配当金：54円以上 (※連結配当性向：35%) ・3年間平均連結総還元性向：50% 	<ul style="list-style-type: none"> ・配当性向（2021年度）：65% ・配当性向（2022年度）：100% ・配当性向（2023年度）：100%
ESG	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量削減目標値： 2013年度比で20%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量削減目標値： 2013年度比で22%以上
想定為替レート	1USD=105円 1EUR=115円	1USD=115円 1EUR=125円

事業戦略

基本方針

1. 高性能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する。
2. 環境課題への取り組みを強化し、持続可能な社会の実現に貢献する。

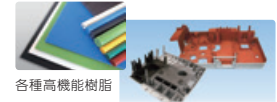
	戦略	具体的な施策
自動車部分野	<ul style="list-style-type: none"> ・電動化 (EV化) への対応 ・補修市場への拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリット車向け補機駆動用高付加価値システム製品の拡販 ・四輪車両制御装置 (EPS、EPB、PSD) の電動化対応製品の拡販 ・二輪車・多用途四輪・パーソナルモビリティ向け後輪駆動用製品の拡販 ・新興国を中心とした四輪車・二輪車向け海外補修市場への拡販
一般産業用分野	<ul style="list-style-type: none"> ・食へのサポート ・自動化への対応 ・環境への対応 ・省エネ化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械向け高付加価値製品の開発及び拡販 ・ロボット・物流機器向け製品の開発及び拡販 ・クリーンエネルギー市場向け (風力発電機など) 製品の拡販 ・高効率な製品の開発及び拡販
搬送製品分野	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全への対応 ・流通の効率化への対応 ・環境配慮型製品への対応 ・海外市場への拡販 ・情報通信技術を利用したソリューション事業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品業界の衛生管理に対応する高機能ベルトの拡販 ・物流業界向け高付加価値製品の拡販 ・バイオマス由来・リサイクルなどの原材料を使った製品開発 ・東南アジア市場への拡販 ・部品管理Webアプリケーションサービス「Tailor-note®」の提供
樹脂製品分野	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量化、省エネ化への対応 ・メンテナンス軽減化への対応 ・機能部品化への対応 ・環境への対応 ・食の安全への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の代替品として多様な分野への用途開発と拡販 ・高機能樹脂の用途開発と拡販 ・発泡成形を用いたフレームレス構造やベース部品の拡販 ・バイオベースやリサイクルを考慮した製品開発 ・食品業界の衛生管理に対応する高機能樹脂素材の拡販
建設資材分野	<ul style="list-style-type: none"> ・水資源保全への対応 ・自然環境保護への対応 ・建物の長寿命化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物及び汚染土処分場遮水工事市場への拡販 ・農業用貯水池築造及び改修市場への拡販 ・河川の防災・減災関連市場への拡販 ・ビオトープ・緑化推進、生物多様性保護市場への拡販 ・建物屋根・屋上防水市場への拡販
開発製品分野・新規分野	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ化、グリーンエネ化への対応 ・情報化、電動化、自動化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ、モバイル機器市場への金属ナノ粒子の拡販 ・太陽光発電、電源・電源装置市場への高性能回路基板の販売 ・高速大容量通信、モビリティ市場への高性能回路基板の拡販 ・半導体、電子部品業界への導電、抵抗、絶縁ペーストの拡販



EPS用タイミングベルト 多用途四輪車



部品管理Webアプリケーションサービス「Tailor-note®」



各種高機能樹脂 発泡成形品



屋上防水施工例 最終処分場遮水システム

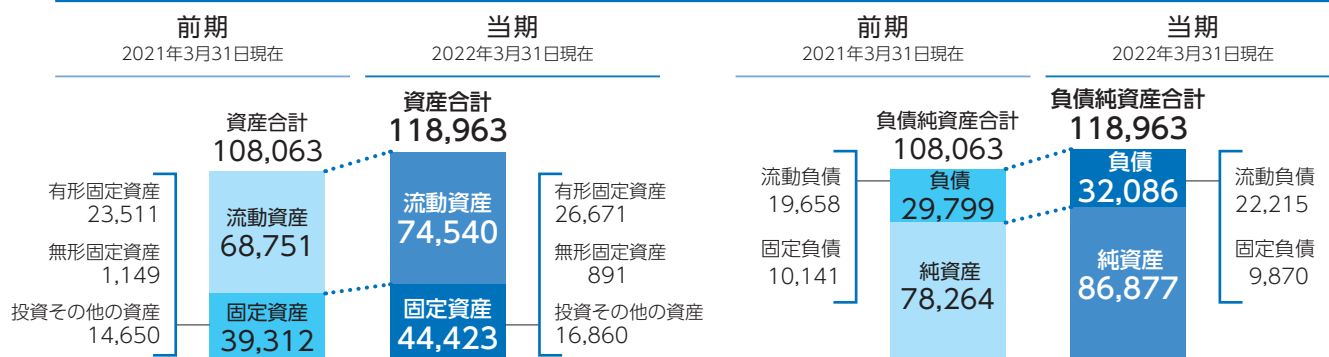


銀ナノ粒子塗料

連結財務諸表

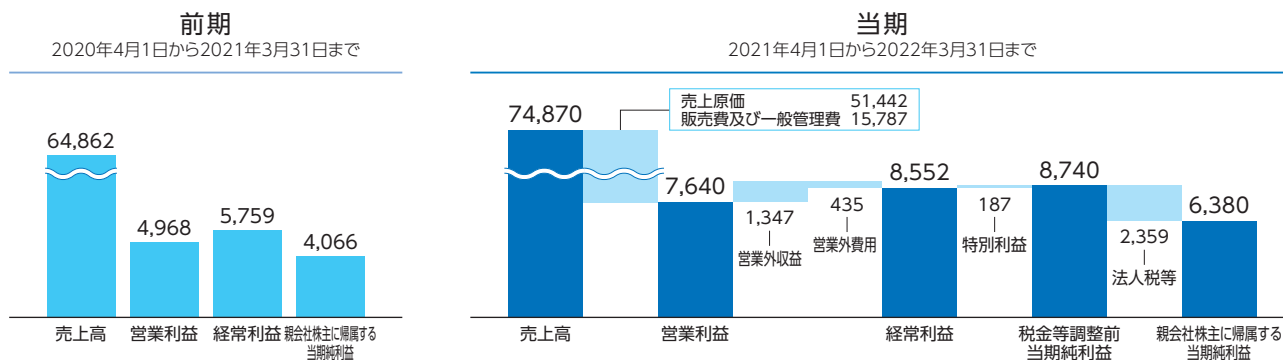
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



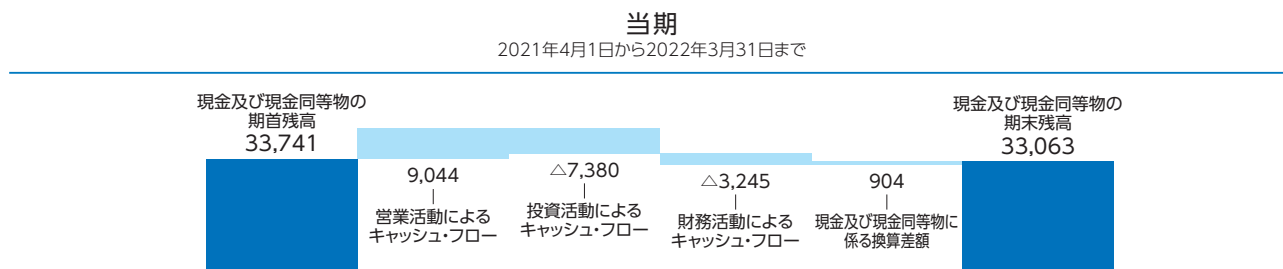
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前期 2021年3月31日現在	当期 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	68,751	74,540
現金及び預金	33,771	34,708
受取手形及び売掛金	15,938	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	17,788
その他	19,041	22,043
固定資産	39,312	44,423
有形固定資産	23,511	26,671
無形固定資産	1,149	891
投資その他の資産	14,650	16,860
資産合計	108,063	118,963
負債の部		
流動負債	19,658	22,215
固定負債	10,141	9,870
負債合計	29,799	32,086
純資産の部		
株主資本	70,241	74,188
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,119
利益剰余金	65,768	70,315
自己株式	△ 5,788	△ 6,395
その他の包括利益累計額	8,023	12,688
純資産合計	78,264	86,877
負債純資産合計	108,063	118,963

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	64,862	74,870
売上原価	45,868	51,442
販売費及び一般管理費	14,025	15,787
営業利益	4,968	7,640
営業外収益	1,123	1,347
営業外費用	332	435
経常利益	5,759	8,552
特別利益	97	187
税金等調整前当期純利益	5,857	8,740
法人税、住民税及び事業税	1,876	2,721
法人税等調整額	△ 85	△ 361
当期純利益	4,066	6,380
親会社株主に帰属する当期純利益	4,066	6,380

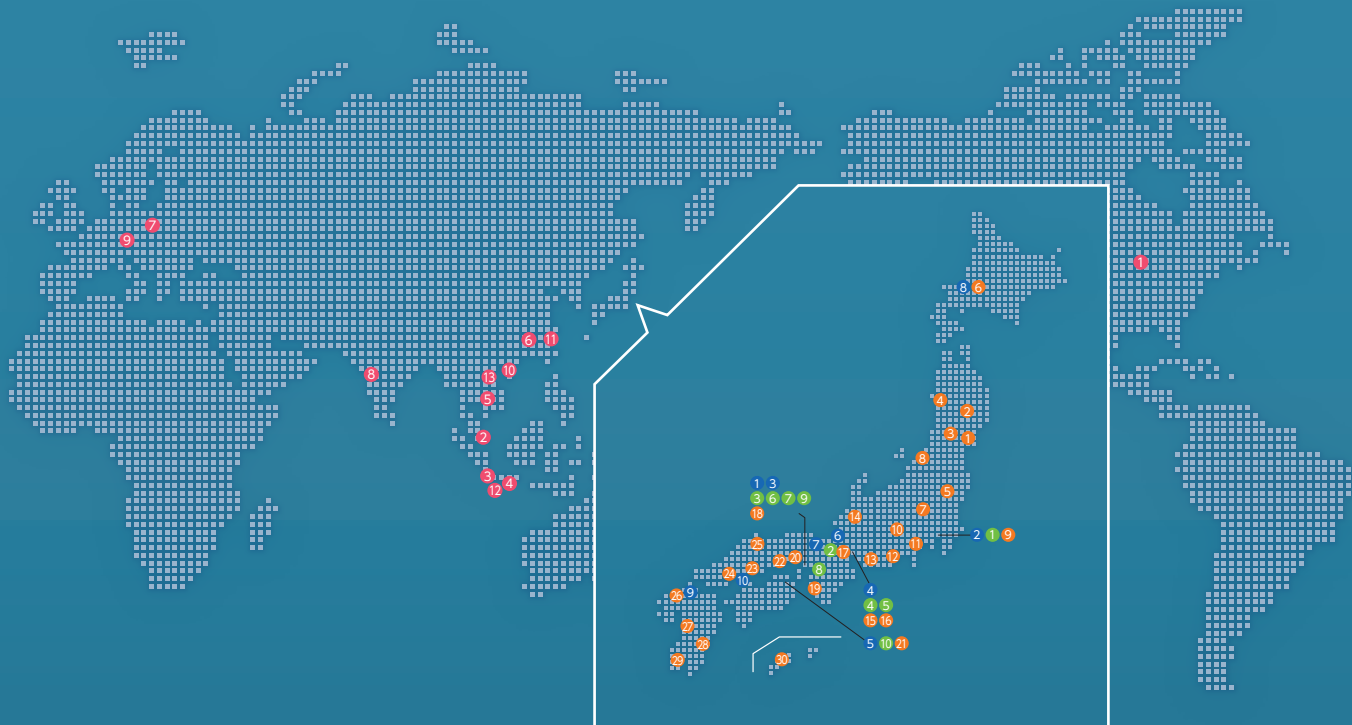
(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,612	9,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,071	△ 7,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,104	△ 3,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,160	904
現金及び現金同等物の増加額	2,597	△ 677
現金及び現金同等物の期首残高	31,143	33,741
現金及び現金同等物の期末残高	33,741	33,063

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 神戸事業所
- ④ 名古屋工場
- ⑤ 四国工場
- ⑥ 滋賀工場
- ⑦ 綾部事業所
- ⑧ 札幌営業所
- ⑨ 福岡営業所
- ⑩ 広島事務所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ エムエムコート(株)
- ⑩ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 仙台営業所
- ② 盛岡営業所
- ③ 山形営業所
- ④ 秋田営業所
- ⑤ 郡山営業所
- ⑥ 札幌営業所
- ⑦ 北関東営業所
- ⑧ 新潟営業所
- ⑨ 東京営業所
- ⑩ 山梨営業所
- ⑪ 神奈川営業所
- ⑫ 静岡営業所
- ⑬ 浜松営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 小牧営業所
- ⑯ 名古屋営業所
- ⑰ 栗東営業所
- ⑱ 和歌山営業所
- ⑲ 姫路営業所
- ⑳ 四国営業所
- ㉑ 岡山営業所
- ㉒ 福山営業所
- ㉓ 広島営業所
- ㉔ 松江営業所
- ㉕ 福岡営業所
- ㉖ 熊本営業所
- ㉗ 宮崎営業所
- ㉘ 鹿児島営業所
- ㉙ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

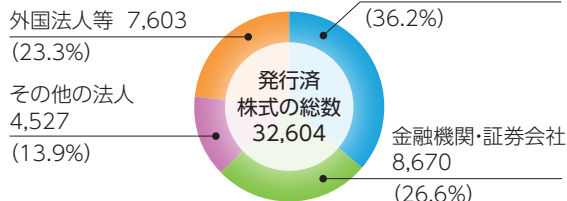
- ① MBL (USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA
- ④ PT. SEIWA INDONESIA
- ⑤ STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED
- ⑥ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑦ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑧ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑨ Mitsuboshi Belting Europe GmbH
- ⑩ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑪ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑫ PT. MITSUBOSHI BELTING SALES INDONESIA
- ⑬ MITSUBOSHI BELTING VIETNAM CO., LTD.

株式の概況 (2022年3月31日現在)

1. 株式

- ◇ 発行可能株式総数 130,000,000株
- ◇ 発行済株式の総数 32,604,198株
- ◇ 株主数 4,463名

◇ 所有者別状況(千株)



(注) 個人・その他には自己株式3,822千株が含まれています。

会社の概要 (2022年3月31日現在)

- ◇ 商号 ミツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.
- ◇ 創業 1919年10月10日
- ◇ 設立 1932年10月10日
- ◇ 資本金 81億5,025万1,031円
- ◇ 従業員数 730名
- ◇ 営業品目

- ベルト** 自動車用ベルト、一般産業用ベルト、OA機器用ベルト、搬送ベルト、その他ベルト
- 建設資材** 建築用防水シート、土木用遮水シート及び関連製品
- その他** エンジニアリング ストラクチャル フォーム、その他

- ◇ 事業場
 - 神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
 - 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
 - 神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
 - 名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
 - 四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
 - 滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2号 ☎(0740)27-0133代表
 - 綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表
 - 札幌営業所 札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
 - 福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
 - 広島事務所 広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号 ☎(0829)32-9223代表

2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,516	12.22
株式会社日本カストディ銀行	1,360	4.73
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	1,300	4.52
株式会社三菱UFJ銀行	1,170	4.07
星友持株会	1,002	3.48
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	915	3.18
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	911	3.17
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	755	2.62
三井物産株式会社	750	2.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	686	2.38

(注) 1. 当社は自己株式3,822千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長兼社長執行役員	池田 浩	席常務執行役員	下村 徹
取締役兼専務執行役員	山口 良雄	常務執行役員	石田 和利
取締役兼専務執行役員	中嶋 正仁	常務執行役員	竹田 和浩
取締役兼専務執行役員	熊崎 敏美	常務執行役員	高田 俊通
取締役兼常務執行役員	又場 敬司	執行役員	永田 昭裕
取締役兼常務執行役員	倉本 信二	執行役員	出口 勲
取締役	宮尾 龍蔵	執行役員	松井 優
取締役	奥田 真弥	執行役員	井之上 浩基
取締役	三宅 由佳	執行役員	辻 政嗣

監査役(常勤)	増田 健吉
監査役	辻 泰弘
監査役	田中 純
監査役	滝口 広子

(注) 1. 取締役宮尾龍蔵氏、取締役奥田真弥氏及び取締役三宅由佳氏は、社外取締役です。

2. 監査役辻泰弘氏、監査役田中純氏及び監査役滝口広子氏は、社外監査役です。

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 100株
- 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- 公 告 方 法 電子公告により行います。
公告掲載ホームページは、https://www.mitsuboshi.com/stockholder/denshi_koukoku.htmlに掲載しております。
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

<https://www.mitsuboshi.com/>